

決算特別委員会

問 一般会計の決算を見ると予算では約420億円見込んでいますが、最終的には多額の不用額を出している。儉約した効果によるものと、枠取りのに予算を取ってにおいて、結果不用額が発生しているものもあるかと思う。不用額についての考えは。

答 不用額は、規模的には例年と変わらない。経費節減の結果、不用が生じた場合は良いとしても、予想の甘さにつながるものであれば、見直しの対象とし、今後の予算編成に鋭意取り組みが必要だと考える。

問 分譲宅地等売払収入は、1千万円の予算に対し7,300万円の収入となっている。こうなった理由は何か。今後はどうするのか。

答 分譲宅地は、今までなかなか売れなかったため、1千万円で予算組みしていたが、平成24年は7区画売れた。残区画は、あと23区画残っており早期に売却したい。売れる範囲を見越し、予算計上していきたい。

平成24年度決算概要 (単位:千円、%)

会計区分	予算額	決算額		執行率		
		歳入	歳出	歳入	歳出	
一般会計	42,028,004	38,947,808	37,954,581	92.7	(93.7) 90.3	
特別会計	国民健康保険	13,905,255	14,048,370	13,655,213	101.0	98.2
	後期高齢者療養	1,182,800	1,168,195	1,165,076	98.8	98.5
	介護保険	6,112,676	6,061,080	6,026,088	99.2	98.6
	公共下水道事業	4,164,058	3,920,259	3,911,203	94.1	(97.3) 93.9
	公共用地 先行取得事業	74,400	74,350	74,350	99.9	99.9
	駐車場事業	160,300	170,500	158,519	106.4	98.9
	住宅新築資金等 貸付事業	106,365	82,336	104,360	77.4	98.1
	墓園事業	56,900	75,081	50,611	132.0	88.9
	共有財産処分	4,795,500	4,991,946	3,588,039	104.1	74.8
	合計	72,586,258	69,539,925	66,688,040	95.8	(94.0) 91.9

* ()内の%は、翌年度への事業繰越を歳出決算に加算した場合を示す。

決算特別委員会<11名で構成>

委員長

細川 佳秀

副委員長

竹森 衛

委員

亀甲 義明・成谷 文彦・奥田 寛
竹田きよし・宇佐美孝二・榎尾 幸雄
松尾 高英・たけだやすひこ・植田 泰文



議員研修会

8月27日に奈良県市議会議長会議員研修会に平成25年度議員研修会として参加しました。自治体議会政策学会会長 拓殖大学地方政治センター長 竹下譲氏を講師とし、「なぜ議会改革が必要か」について研修を受けました。

特別委員会の設置

市庁舎建設事業等に関する特別委員会

9月定例会で、市庁舎建設事業等に関することについて審議するため、特別委員会が設置されました。

(委員長) 成谷文彦、(副委員長) 松木雅徳、
(委員) 大北かずすけ、亀甲義明、森下みや子、竹森衛、
西川正克、奥田寛、細川佳秀、竹田きよし、榎本利明、
高橋圭一、宇佐美孝二、廣井一隆、河合正、榎尾幸雄、
松尾高英、大保由香子、水本ひでこ、たけだやすひこ、
植田泰文、奥田英人 《22人》